



代表取締役

## 網代 健太

熊本県出身。地元の大学を卒業後、東京の飲食店で約5年間料理人として勤める。その後、不動産業界に転身し、複数の不動産会社で不動産売買や賃貸管理などの業務経験を集積。独立に向けて足場を固め、2017年に福岡に転居。福岡の不動産会社でも1年間勤務し、2018年4月に起業して『えびす不動産』を設立した。

株式会社

## えびす不動産

福岡県福岡市東区香住ヶ丘2-15-21

しのはらビル 403

URL : <http://www.ebisu-fukuoka.com>

# 地域密着の不動産会社として お客様の悩みに十全に答えていく

福岡市東区に拠点を置く不動産会社、『えびす不動産』。不動産売買や空き家・相続対策など、不動産に関する様々な相談に応え、豊富な知見をもとに最適なアドバイスを提供している。本日は同社に女優の新山千春さんが訪れ、網代社長にインタビューを行った。

まずは、「えびす不動産」さんの業容をお聞かせ下さい。

当社では福岡市内を中心とするエリアで、主に不動産の売買仲介業務を手掛けております。今年4月に創業したばかりですが、これまで長年不動産業に携わってきた豊富な経験とネットワークをもとに、空き家の管理や相続問題、アパート・マンションや駐車場の管理、不動産活用など、あらゆるご相談の確にお応えいたします。

——お客様と接する際、どのようなことを心がけていらっしゃいますか。

地域密着の不動産会社として、迅速で親身な対応に努めています。「不動産を少しでも早く売りたい」といったお客様の要望

に答えるべく、あらゆる媒体に向けて積極的に販売活動を行い、早期成約を実現します。また、不動産会社の中には、お客様が得られるメリットのみを声高に話し、それに伴うリスクなどは告げない悪質な業者も存在します。当社では、これまでに培った知識とノウハウに基づき、お客様にしっかりと納得していただけるまで、あらゆる観点から丁寧に説明いたします。

——不動産という大きな資産を任せるにあたり、信頼できる会社であるということは何よりも大切ですね。網代社長は、この地域で長年不動産業に従事してこられたということでしょうか。

私は熊本県出身で、以前は埼玉県の不動産会社に勤務していました。そして2017年に妻の故郷であるここ福岡に移り住み、1年の会社勤めを経て当社を設立した次第です。福岡は市況が良いですし、こちらに来てから勤めた会社は全国展開している不動産会社で、埼玉にいた時から取引がありました。そちらの所長さんをはじめとする方々とのつながりもあり、独立後も土地の売買などの仕事を確保することができ、順調なスタートを切ることで売上が達成できそうです。

——これまでのネットワークも活かし、まさに順風満帆のようですね。

ただ、不動産業は単価が大きい分、波もあります。特に不動産売買の場合、一度に得られる利益が大きくとも、次はいつになるか分からないとなると、経営の安定化は難しいでしょう。事業を長く継続していくためには、まずは実績と信頼を積み重ね、事業規模の拡大ではなく安定した経営基盤の確立に重きを置いていく考えです。そうして地域に根ざしながら、今後もお客様の資産活用をサポートしていきます。



ゲストインタビュアー

新山 千春  
(タレント)

「網代社長のお話からは、お客様の大切な資産を扱うという強い責任感が窺えました。地域の頼れる不動産会社として、これからますますその存在感を高めていくことですね」

